

企画財政部長（桶屋栄造君）

小川議員の再質問にお答えいたします。

白山ろく、鶴来、松任を美川も含めてしっかり結ぶ公共交通網が大切であるという御指摘でございます。

確かにそのとおりでございますけれども、お金が無尽蔵にあればいろんな方法もあるのだらうと思っておりますけれども、現在、我々は、国・県の補助制度が活用できる路線バス、これを何としても維持してまいりたいと考えております。

そういたしますと、現在、白山市でやっておりますコミュニティバス、これについては路線バスが撤退する可能性のあるようなコースを走らせることができないということになりますので、コミュニティバスが運行できる範囲というのはかなり限られてくるということで、利便性が必ずしもよくないというようなことがございます。

ただし、コミュニティバスだけをとってみましても、今8,000万円以上のお金をかけておりますし、路線バスの今、赤字路線に対する白山市の持ち出し分、これも年間3,000万円を超えております。合わせるとバスだけで1億円を超えるような大きな予算を、毎年経常的に投入しているわけでございます。

電車のほうで言いますと、北陸鉄道の石川線、これも何とか維持してまいりたいということで金沢、野々市、内灘、白山市が一体となって、これについても維持のための補助金を5年間にわたって支出するというような助成措置もとっているわけでございます。

これを全てコミュニティバスで賄うというのは、なかなか困難なのかなと思っておりますので、今は路線バスを何とかして撤退しないように残していく努力をしているというのが現状でございます。

以上です。